

令和7年度 高浜市立高浜南部幼稚園関係者評価委員会（結果）

高浜市立高浜南部幼稚園

令和7年度に幼稚園関係者評価委員会を計2回開催しました。高浜南部幼稚園では、幼稚園関係者評価委員会を組織し、園・家庭・三者一体となって協働して幼稚園づくりが展開されるよう、委員のみなさんからご指導ご助言をいただきながら、園運営の改善を図っています。令和7年度の総合評価、保護者アンケートについて公表させていただきます。

<教育目標>

心身ともにすこやかで人間性豊かな子どもの育成を図る

- ・思いやりのある子
- ・自分で考え行動する子
- ・明るくのびのびと遊ぶ子

1 教育目標・経営方針についての評価

- ・5歳児、よく体を動かして遊んでいる。サッカーやドッジボールなど、男女一緒に遊んでいる様子があった。
- ・4歳児、男の子は水路、道作り、女の子はチョコレート作りと男女別な遊びをしていた。違う遊びをしているが、楽しんでいることは一緒であった。
- ・3歳児、年長児や年中児の遊びを見ながら大縄とびやかくれんぼなど真似をして、先生と一緒に遊ぶ姿があった。

こういった遊びの姿が教育目標の思いやりのある子、のびのびを遊ぶ子につながっている。

2 重点努力目標についての評価

重点努力目標	番号	評価項目	回答							
			<保護者> 対象人数:45名 回答数34名(75%) 内訳：3歳児10名中6名 4歳児17名中14名 5歳児18名中14名 <職員> 対象人数:10名 回答数10名(100%)							
			S		A		B		C	
保護者	職員	保護者	職員	保護者	職員	保護者	職員			
ア	友達との関わりが豊かになる子を育てる。	1 お子さんは、幼稚園に行くのを楽しみにしている。	64.7	30	32.4	70	2.9	0	0	0
		2 お子さんは、園で安心して自分の思いを出し、元気に遊んでいる。	64.7	50	23.5	50	11.8	0	0	0
		3 お子さんは、様々な物事に興味関心を示し、やってみたいという意欲が育っている。	58.8	60	32.4	40	8.8	0	0	0
		4 お子さんは、友達や保育者と一緒に遊んだり活動したりする楽しさを感じている。	73.5	90	23.5	10	3	0	0	0
		5 幼稚園はお子さんの生活や遊びが豊かになるような環境を整えている。	67.6	60	26.5	30	3	10	2.9	0
委員評価	S	・園庭では、3～5歳児と一緒に遊んでおり、普段から異年齢交流ができてるのがよい。自然と交流することで、園全体で兄弟のような関わりも見られ、思いやりが育つ機会となる。 ・保育者や時には年長児が見守っている姿があり、安心して園生活を送っている姿が見られた。安心感から人への信頼感も育っている。 ・前回よりも子どもたちが楽しんでいることが伝わり、保育者が友達と関わる子を育てる努力をしていたことが伝わる。								
イ	身近な環境に主体的に関わる力を培う	1 発見を楽しんだり考えたりしながら遊べるよう保育者は援助している。	64.7	50	23.5	50	11.8	0	0	0
		2 お子さんは、身近な自然と触れ合う中で生き物や植物を大切にしようとする姿がある。	38.2	40	35.3	50	26.5	10	0	0
		3 保育者は一人一人の子どもの思いを丁寧に受け止め接している。	61.8	70	29.4	30	8.8	0	0	0
委員評価	S	・コマ遊び一つとっても学年によって、ひもコマ、糸引きコマ、手回しコマと年齢や発達、季節に合わせた環境が用意されていた。 ・興味をもった遊びを、すぐに遊びだせるような環境となっている。砂を使ったチョコレート作りでは、サラ粉、小石等のザラ粉、どんぐりなど、楽しめるような工夫がされ、触ってみたい、使ってみたくて意欲につながっている。 ・2の保護者評価にばらつきがあり、園で体験し、育った姿が保護者に伝わりにくく、育ちを実感してもらうように発信していくことが課題である。								
ウ	友達と一緒に楽しく食べる子を育てる。	1 お子さんは、食育を通して、食事のマナーが身に付きつつあり、皆で食べる楽しさを感じることができている。	41.2	40	35.3	60	23.5	0	0	0
		2 お子さんは栽培やクッキング活動を通して食育に関心が高まっている。	41.2	70	41.2	30	14.7	0	2.9	0
委員評価	S	・クッキングを通して調理すること、食べることなど、楽しかったことを子どもたちはよく覚えていた。玉ねぎなど、自分たちで栽培したものを使ったクッキングの経験は家庭ではできないことが多い。 ・偏食が多い子ども、保育者に褒められたり、友達と楽しく食事したりして、幼稚園では食べられる。家庭でのコミュニケーションにもなっている。 ・幼稚園での食育活動が小学校にもつながっている。								
エ	家庭や地域との連携を図る	1 幼稚園は、ICT「コドモン」を活用し、園の取り組みや子どもの生活や遊びの様子、育ちを伝えている。	64.7	60	29.4	30	5.9	10	0	0
		2 幼稚園は、保育参観や行事、ボランティア等で保護者が様々な子どもと関わる機会を作り、お子さんの育ちに気づく機会を作っている。	58.8	80	38.2	20	3	0	0	0
		3 幼稚園は、地域社会（保育園・小学校）との交流を計画的に取り入れて、子どもの興味関心や活動の場を広げている。	50	70	41.2	30	8.8	0	0	0
		4 保護者の皆さんに伺います。コドモン配信（お知らせ・活動の記録）をご覧になりますか。	88.2	0	11.8	0	0	0	0	0
		5 保護者の皆さんに伺います。コドモン配信で園の様子を知り、家庭で園生活について話題にすることが増えましたか。	55.9	0	35.3	0	8.8	0	0	0
委員評価	S	・1年生と年長児は秋まつりで交流する予定であったが感染症で中止となり代替として授業参観をした。今年度は6年生も園庭と交流し、その後の合同避難訓練もスムーズに行うことができた。 ・幼保まち協で一緒に関わり、保育者も子どもも顔見知りになることが大切。今後も毎年やるのが当たり前となるよう地域を盛り上げていく。 ・こういった場で地域の方が課題を共有していくことが大切である。								

委員評価…「S：非常に良い」「A：良い」「B：普通」「C：良くない」

3 総合評価

- ・重点努力目標を軸に、保育者が子どもたちへの援助に努めてきたことが、子どもの成長した姿から見てとれた。“豊か”や“主体性”といった抽象的な言葉を、保育者はどのように実践しているか悩んだと思うが、子どもが感じたことや見つけたことを、保育者が大切にしようと思えるように配慮をしっかりとされているため、子どもたちの主体性が自然に育っている。また、保育者が、年齢ごとの子どもの心の動きに寄り添い、意図をもって丁寧に接していた。
- ・小規模園の強みを捉えて、一人一人の子どもに保育者がきちんと対応できている。保護者との密な関係性から、協力体制ができている。
- ・おやじの会、まちづくり協議会、小学校や保育園等、地域全体が繋がっている。今後も、子どもたちに様々な経験をもたらす活動を継続的に行うことを願う。
- ・コドモン配信では、一瞬の保育場面を捉えて配信する難しさがあるものの、保育者が大事に取り組んでみえることが、保護者に伝わっている。
- ・幼稚園での自分たちで生活を進めたり遊びを見つけたりしていく力が、小学校に活かされ繋がっていくことが確認できた。